

R7 魚津市のコミュニティ・スクール②

西部中学校



第1回学校運営協議会

5/15(木)に西部中学校の第1回学校運営協議会が開催されました。会長として、6年度に引き続き、福留委員(市社会福祉協議会 会長)、副会長として今年度新たに伊東委員(西部中PTA会長)が選出されました。

校長の鍋島委員からは、学校教育目標の達成に向けて、「安心感・充実感が得られる学校づくり」をベースに、特に「**チーム担任制のアップデート**」に取り組むたいと説明がありました。昨年の学校運営協議会での意見を取り入れ、チーム担任制の特長の周知に努めるとの説明もありました。チーム担任制の仕組みや成果についての質疑の後、全会一致で学校運営方針が承認されました。

地域学校協働活動 — 学校と地域がパートナーになって —

～ 地域力を生徒の「地力」に！ 生徒の力を地域の「活力」に！ ～

学校と地域がパートナーとなることで・・・



保護者・地域住民等が学校運営や教育活動へ参加することで、生きがいにつながり、生徒たちの学びや体験が充実します。

- 自身の経験を生かして学校や子供のサポートをする人が、進路や生きがいが
- 地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現する。
- 協働的な取組
- 学校を元手に地域がつながり、地域の活動が活発になる
- 地域の人々に関わる機会が広がります
- 地域の雇職工人や特性を生かすことで、学校での学びがより豊かになり、学びの場が広がる



本部の3つの要素

- ① コーディネート機能
- ② 多様な活動
- ③ 継続的な活動

地域学校協働本部の構成員(イメージ)
 地域学校協働推進員(PTA会長、社会福祉協議会、公民館、農業者、自治会、町会、老人会、農業協同組合、児童館、社会福祉協議会、子育て支援センター、地域教育センター、図書館、大学等)が中心となる。

地域から学校へ 地域住民による
西中サポート活動

生徒から地域へ 西中生による
放課後いきいき活動

左図の説明 抜粋

今年度、「魚津市ならではのキャリア教育、ふるさと教育の推進」に向け、地域の教育資源の積極的活用を図りながら、「**西中サポート活動**」と「**放課後いきいき活動**」に取り組めます。活動の具体については担当チームを編成し、協議していきます。

部活動の地域展開が進む中、生徒の放課後の過ごし方も多様化してきました。そこで、平日の放課後に**西中生が地域に出向き**、ボランティアや興味ある活動に取り組み、地域に貢献する活動を計画しています。例えば、14歳の挑戦でお世話になった事業所で引き続き活動する、農業の手伝いをする、児童センターで小学生の世話をするなど、**地域貢献**・自己実現につながる活動を少しでも実践できるようにしたいと思います。